

いた年配の婦人は、青壯年部に「どれか魚を持つていい」と思っている。い」と言われ、驚きながらも喜んで品定めしていた。

篠田会長（38歳）は、「東北の漁師・漁港は壊滅的な被害にあって大変な状況だと思う。僕等も漁師で一緒に立場ですから、自分たち

が獲った魚が、少しでも力になれればと思っています」と話している。

同青年部のチャリティ直売会は、今後も場所を変えるなどして、続けていく予定という。

最初の直売会には青年部12人が鮮魚等を提供、約11万7千円を売り上げた。

テイ直売会は、今後も場所を変えるなどして、続けていく予定という。

最初の直売会には青年部12人が鮮魚等を提供、約11万7千円を売り上げた。

福島原発放射能問題等で避難生活者は十三万人以上にも及ぶ。

自然災害と言え何と瓦礫は目を疑いたくなる様な大惨事である。被災地の皆様に、心からお見舞いとお悔みを

# ひある記

齊藤隼人

供達を島へ、職場の立派な多分立派である。この義務

機は昭和二十一年に

さそうである。

実情を聞いた。大阪精

明の三氏からいろく

うと工場視察に来てお

り、同製作所社長、長

原孝夫、専務木下郁磨

常務（人事係）沼本浩

在員持永達郎氏がちょ

たこれ

は始めて

いいてい

所の懶

怠派であ

る。この多分

の義務

立派である。

この多分

の義務

立派である。

